

平成 29 年 5 月

会員各位

公益社団法人日本フェンシング協会
審判・ルール・ライセンス委員会

平成 29 年度第 1 回中央審判講習会及び審判試験のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のことと、お慶び申し上げます。

さて、2020 年の東京オリンピック開催まで残すところ 3 年となり、当委員会では審判員の育成と強化は最重要課題と認識しております。

この課題解決に向けた第一歩として、審判員の技術力向上のための指導、人材の育成を目的とした審判講習会及び審判試験を下記のとおり開催いたします。

会員各位におかれましては、積極的な参加をお願いいたします。

敬具

記

日程 : 平成 29 年 7 月 29 日 (土) ~30 日 (日)
場所 : 国立スポーツ科学センター
実施要領 : 別紙のとおり

以上

別紙

平成 29 年度第 1 回中央審判講習会及び審判試験 実施要領

1. 開催日程

平成 29 年 7 月 29 日（土）から平成 29 年 7 月 30 日（日）まで

第一日（7 月 29 日） 9:00～16:00 講習
16:00～ 筆記試験問題配布

第二日（7 月 30 日） 9:00～17:00 実技試験

（注）審判試験を受験しない場合には 7 月 29 日 16:00 までで終了
受験者数によって、終了時間が前後することがある

2. 開催場所

国立スポーツ科学センター

〒115-0056 東京都北区西が丘 3-15-1

<http://www.jpnsport.go.jp/jiss/>

7 月 29 日：2 階 B 研修室

7 月 30 日：2 階 C.D 研修室

7 月 29 日は 8 時 40 分に 2 階レストラン横にて受付してください。

3. 講習会内容

- ①審判の心得
- ②世界の動向
- ③フルーレの規則
- ④サーブルの規則
- ⑤エペの規則
- ⑥ビデオ審判について
- ⑦違反と罰則について
- ⑧審判用語とジェスチャー

4. 試験内容

①種目

フルーレ、エペ、サーブル（複数選択可）

②グレード

B 級、C 級（いずれかを選択すること）

③試験方法

各種目、各グレードともに、筆記試験及び実技試験を実施する。

ただし、過去 3 年以内に審判試験に合格した者(同一の種目に限る)は、筆記試験を免除する。この場合であっても講習会の受講は必須である。

5. 受講及び受験の資格

①講習会

中学生以上

②試験

B級：3年以上の実技経験者で18歳以上（今回の講習会の参加が必須）

C級：1年以上の実技経験者で18歳以上（今回の講習会の参加が必須）

6. 申し込み方法

①所定の申込書に必要事項を記入し、下記送付先へメール添付すること。

kai.masahiko@fencing-jpn.jp

②申し込み期限：平成29年7月7日（金）18時（必着）

7. 費用と納入方法

①費用

- ・講習会のみ：3,000円
- ・受験B級：1種目5,000円、2種目7,000円、3種目9,000円
- ・受験C級：1種目4,000円、2種目5,000円、3種目6,000円

受験をする場合には、講習会費用を含む。

受験する種目によってグレードが異なる場合（例：フルールはB級を受験し、サーブルはC級を受験）には、別途連絡をするので問い合わせること。

②納入方法

当日受付にて徴収いたします。

8. その他

- ・講習会受講者数に人数制限はない。
- ・受験者は全体（各種目、各グレードの合計）で最大15名とし、申し込み者数がこれを上回る場合には先着とする。
- ・申し込み者数が少ない場合は、中止する場合がある。中止する場合には、申込者に個別に連絡する。
- ・FIE試合規則をプリントアウトの上、必ず持参すること。
- ・受講、受験にあたり、宿泊をする場合には、各自で手配、負担すること。
- ・食事は、各自で手配、負担すること。
- ・日本協会審判員規定により審判試験において各グレードに合格した者は審判登録申請を行い、これを完了させた時点で資格が認定される。

9. 問い合わせ先

公益社団法人日本フェンシング協会

審判・ルール・ライセンス委員会 委員長 甲斐正彦

電話：090-3130-1063

電子メール：kai.masahiko@fencing-jpn.jp

【参考】

- ・ 審判のグレードは次の通り。
 - A 級：全ての大会の決勝審判が可能／国際審判員の受験者として推薦
 - B 級：全日本選手権大会、国民体育大会の審判が可能（準決勝まで）
 - P 級：全日本選手権大会、国民体育大会の審判が可能（準々決勝まで）
 - C 級：全日本選手権大会、国民体育大会の審判が可能（準々決勝まで）
 - E 級：主要大会以外の試合の審判が可能

- ・ B 級を受験した場合には、P 級（P: Provisional（暫定））、あるいは C 級として認定することがある。

- ・ P 級として認定した場合、次の条件を満たした場合に B 級として認定する。
 - －P 級認定後 2 年までの間に当委員会が指定する競技会（JOC ジュニアオリンピックカップ、全国高等学校選抜大会、全国高等学校総合体育大会、全日本選手権大会、国民体育大会）において審判を行うこと。
 - －上記の審判実績に対する当委員会の審査の結果として B 級のレベルに達していること。なお、P 級認定後 2 年を経過して B 級に認定されない場合には、C 級として認定する。

- ・ グレードごとの認定基準は次の通り。
 - A 級：B 級認定者の過去 2 年間の審判実績による
 - B 級：審判試験の結果が 85 点以上（100 点満点）
 - P 級：審判試験の結果が 80 点以上（100 点満点）
 - C 級：審判試験の結果が 70 点以上（100 点満点）
 - E 級：審判試験の結果が 65 点以上（100 点満点）

- ・ 審判員登録について(審判員規定より抜粋)
 - 1.公認審判員は、毎年度実施されている協会への個人登録をすることによって、公認審判員として登録される。
 - 2.はじめて公認審判員として登録する場合、あるいはグレードを変更して登録する場合には、別表 4 に示す登録費を納入しなければならない。

別表4 公認審判員の登録費

グレード	金額
A級のうち国際審判員	¥10,000
A級	¥8,000
B級	¥5,000
B級（P級を経て認定された場合）	¥1,000
P級	¥4,000
C級	¥3,000
E級	¥3,000

注：徽章等の手数料を含む。

各種別において認定された最上のグレードに対応する登録費を支払う。